

耐空性勧告

パラグライダー用ハーネス、ハンググライダー用ハーネス、パラグライダー用緊急パラシュート、ハンググライダー用緊急パラシュート

2人のパラグライダーパイロットが、調査のため彼らのリザーブをD H Vに送ってきた。リパックの際に、インナーコンテナーの外側がべたつく物質の薄い膜で覆われていることに気がついた。一つのケースでは、リザーブが非常に強固に張り付いていたため、アウターコンテナーとインナーコンテナーを物理的にはがした後でなければ開傘が出来なかつた。恐らく、飛行中の緊急開傘は不可能であったと考えられる。どのリザーブも製造者の推奨する定期的なリパックをしていなかつた（一つは10カ月、もう一つは24カ月）。

ビデオへのリンク

インナーコンテナーに使用された素材の製造者は、この現象の原因は化学変化によるものと思われると説明している：アウターコンテナーがポリエステルでコーティングした生地で出来ていると、柔軟剤の移行が起こり、その結果、部分的な分解と多少ともべたつく物質が生じる。

調査した二つのケースは、Finsterwalder/Charly社のリザーブに関するものである。多くの種類のリザーブおよびハーネスがあり、そのインナーとアウターコンテナーの組み合わせも多くなるので他の製造者のリザーブもまた影響を受ける可能性がある。

そこでD H Vは、以下の耐空性指令を発行する：

ハングあるいはパラグライダー用緊急パラシュートの定期リパックのときに、インナーおよびアウターコンテナーに、べたつく物質があるかチェックする。少量でもそのような物質が確認されたときは、インナーおよびアウターコンテナーの製造者に連絡し、交換されたコンテナーを使用すること。

インナーおよびアウターコンテナーがべたつく劣化の起きたリザーブは、耐空性の要件を満たしていないので、対地高度50m以上のフライトに使用してはならない。

Gmund, 2009年8月6日

Karl Slezak

DHV Safety Manager